

ひのえうま
「丙午」太陽のようにエネルギーに満ち溢れる年に！
みあふ



校長 松本 雅史

新年明けましておめでとうございます。

さて、本年は「丙午(ひのえうま)」の年に当たります。ちょうど60年前も「丙午」だったのですが、この年の出生率は前年を25%も下回っています。翌年には回復しているので、この年だけ極端に子どもが生まれなかったことになります。というよりも、意図的に子を産まなかった年といわれています。

理由は、丙午生まれの女性は気性が激しいという迷信が、この国に沁みついてしまったことにあります。信じるかどうかの問題以上に、迷信を社会通念として押し付ける同調圧力が、日本全国に浸透していて、その状態が戦後20年以上経った当時でさえ強く残っていたということです。さらに、この迷信を助長する報道が数年前から行われていたことも影響として見逃せません。

干支によって子どもを産むか産まないかを判断していたなんて、今では全く信じられない話です。しかし、SNSなどの情報手段が発達した現在、迷信はフェイクニュースにその顔を変えているだけのようにも感じます。情報に対して、私たちは常にその根拠を確かめ、自身の主体的判断を大切に行動していきたいものです。

そもそも「丙午」は、躍動する「午(うま)」に、火の力「丙(ひのえ)」が合わさった、情熱的で太陽のようにエネルギーに満ち溢れる年といわれます。大きく躍動・飛躍する年にしてまいりたいと思います。

さて、昨年12月4日(木)に本校は、

『夢を描き、追い求め、実現する児童～探究の質を高める教師の振る舞い～』のテーマで、小平市教育委員会の研究指定校としての研究発表会を開催しました。当日は、全24学級で研究授業を行いました。子どもの「やりたい！」「なりたい！」といった思いや願いを実現する学びを探究的な学びのプロセスに位置付けて、総合的な学習の時間だけでなく、国語、算数、体育、生活科、外国語の授業の中で具現化しようとしました。授業の様子などは、八小ホームページの「学校日記→夢を描き、追い求め、実現する」でもご紹介していますので、ぜひご覧になってみてください。

私たちは、この研究を進める上で「人ととのつながり、触れ合いを通しての学び」「本物に触れる学び」を大切にしてきました。単に知識を増やし、技能を高めるだけではなく、人の思いや生き様に触れることで、ものの見方や考え方、自身の生き方まで考え、一歩を踏み出す学びを目指しました。これからも、さらに多くの方々と共に、未来に向かって「夢を描き、追い求め、実現する児童」を育んでまいりたいと思います。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。